

土地境界図作成方法

1. 表題部については**別紙4**によることとし、代表地番を記載すること。
2. 用紙は、日本産業規格（J I S）A列2番の用紙を用いること。
3. 縮尺は、原則として1／250とする。
4. 寸法は、算用数字を用いる。
5. 座標値から寸法を計算する場合、境界線及び幅員の寸法はm（メートル）単位とし、1／100未満切り捨てで表示する。
6. 境界点はP、引照点はS、機械点（多角点）はT、の記号を用い、成果表を設けて各点の座標値（任意座標系でも可）を明記する。
座標値は、m単位として1／1000まで記入し、未満は四捨五入する。
7. 引照点は明確な永久構造物を用い、後日境界点復元に必要十分な点数とする。
8. 境界点及び引照点が図面上わかりにくい場合は、詳細図を記載する。
9. 図面の位置取りは、北を上向きとし、方位は北方向に矢印等を記入する。
10. 境界線に接する地番は、算用数字を用いてすべて記入し、私有地側に記入する。
11. 作成者欄は、作成者が記入する。（実務取扱者を置き資格を有する場合、資格番号を記入する。）
12. その他の土地境界図作成方法の詳細については、**別紙5**による。
13. 図面内の土地所有者欄は、実務取扱者が記載する。